

転倒・転落防止パンフレット

安全な入院生活のために



入院により環境の変化があります。また、治療や薬の影響によって、体調の変化が生じます。そのため、ご自身で思っている以上に筋力が低下し、転倒・転落につながります。

皆様が安全な入院生活を送れるように、実際に転倒・転落をしやすい場所や動作についてとその予防方法についてまとめました。

お時間のある時にこのパンフレットを繰り返しお読みいただき、ケガのない安全な入院生活を送りましょう。

入院中の体の変化

脳血管障害によって…

運動麻痺、感覚障害、
高次脳機能障害（注意
力の低下）が起こる！



安静による不活動によって…

筋力・体力の低下、
認知機能低下、起きた時
のふらつきが起こる！



手術・薬物などの使用によって…

痛み、眩暈、嘔気・
嘔吐、ふらつき等が
出現する！



こんな時に転びやすくなります！注意しましょう！

ベッド周囲



ベッドから立ち、着替えようとして転倒



ベッドから床頭台の上の物を取ろうとした



ベッドからカーテンの
開け閉めをしようとして
ベッドから転落



靴に手を伸ばした時に
バランスを崩して転倒



ベッドで尿瓶を
使う際にずり落ちた

トイレ



ズボンの上げ下ろしの際に
バランスを崩して転倒



トイレのあと急に立ち上がり
バランスを崩して転倒

患者さんへのお願い



・トイレやベッドか
ら離れる時は
ナースコールを
押しましょう



・座って動作を行い
ましょう
(手すりや柵につかまら
ましょう)



・靴は踵を
つぶさず履き
ましょう



・車椅子から立つ
ときはブレーキを
かけましょう



もし転んでしまったら…すぐに医療者にお知らせください

痛みやケガがなくてもナースコールを押すか、近くの医療者を呼んで知らせてください。

